

2018年 **7月8日(日)**

主催：日野市学童保育連絡協議会・三多摩学童保育連絡協議会

後援：東京都、日野市、西東京市、小平市、小平市教育長、東村山市、府中市、東久留米市、多摩市、国立市、調布市、清瀬市、小金井市、武蔵野市 ほか

問い合わせ：e-mail: info@santama-gakuho.org fax: 042-469-0711 (三多摩学童保育連絡協議会)

受付 9:00am~ 全体会 9:30am~ 分科会 1:00pm~

●会場：明星大学 日野キャンパス；多摩モノレール「中央大学・明星大学」駅から徒歩5分

●参加費：1500円●昼食：600円(要申込み) ●保育：4歳以上・別途有料(要申込み)

詳細は裏面を参照ください。大学会場には駐車はできません。公共交通をご利用ください。



みんなであつなごう笑顔の輪、三多摩連協

第29回

三多摩学童保育 フォーラム in 日野

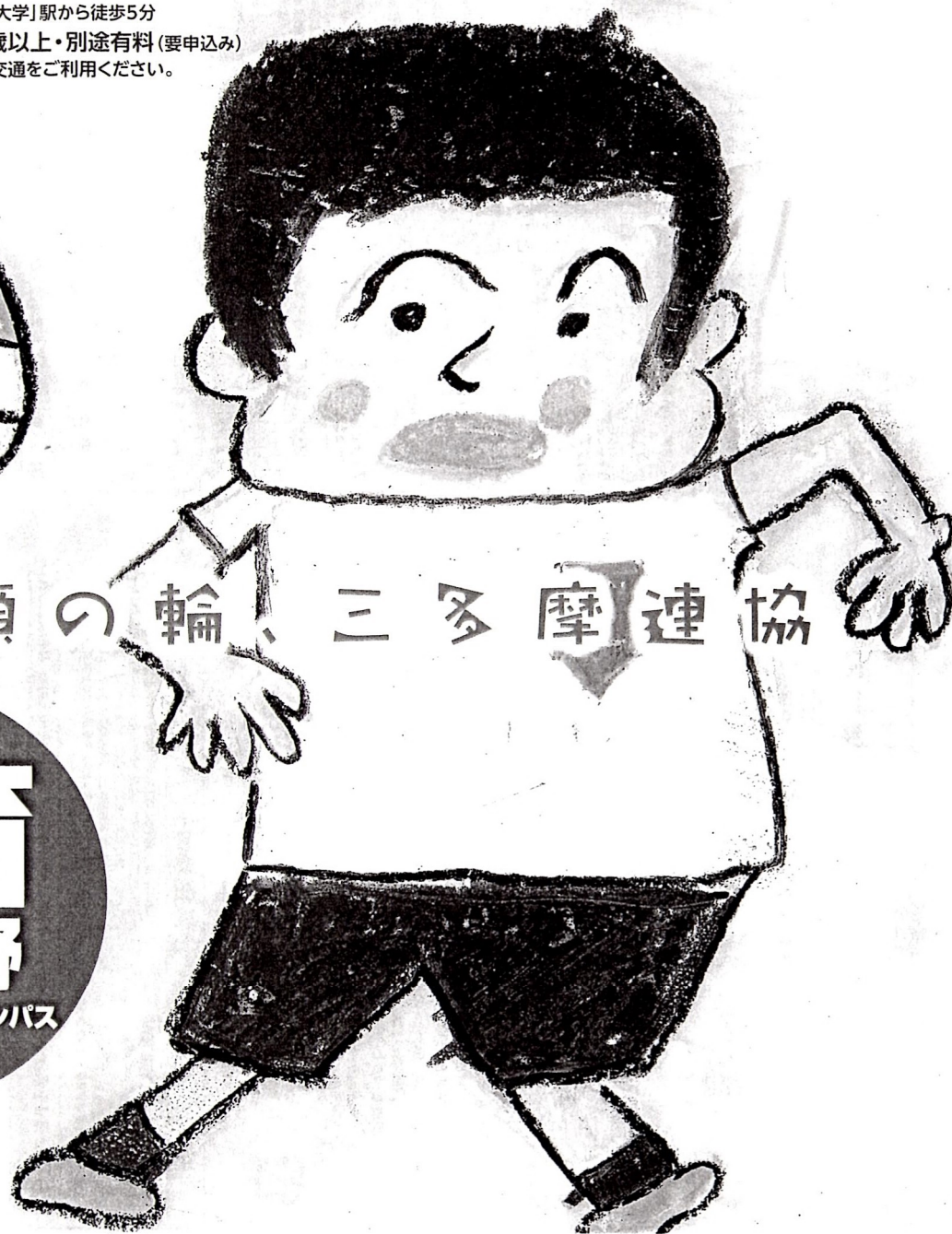
@明星大学日野キャンパス

最寄駅：多摩モノレール
「中央大学・明星大学」駅

全体講演

「保育・学童保育の今～その仕事の実態と専門性への理解」

垣内国光さん(元明星大学教授 社会福祉法人多摩福祉会理事長)



三多摩学童保育連絡協議会 ● 2018年5月20日発行

第29回 三多摩学童保育フォーラム

(三多摩学童保育研究集会)

in 日野

みんなであつた笑顔の輪、三多摩連協

2018年7月8日(日)、日野市(明星大学)にて第29回三多摩学童保育フォーラムを開催します。

「子ども・子育て支援新制度」施行から3年。「基準条例」は、子どもたちによりそったものになっていますか？

大規模学童で子どもたちが落ち着かない…、指導員さんの成り手がいない…、待機児童が減らない…、

面積基準はそのまま…、定員や「支援の単位」の独自解釈…など、さまざまな課題が散見するなか、

国が進める地方分権改革において基準緩和の議論がされています。みなさんのまちの保育・学童保育はどうですか？

働く誇りと安心の子育てを守り、子どもたちの笑顔あふれる豊かな放課後をつくるために共に学びましょう。

- とき 2018年7月8日(日) 開場・受付 9:00am.~ 開会 9:30am.~
- ところ 明星大学 日野キャンパス 東京都日野市程久保2-1-1
<https://www.meisei-u.ac.jp/access/hino.html>
- プログラム(当日、都合により一部変更されることもあります。ご了承ください)

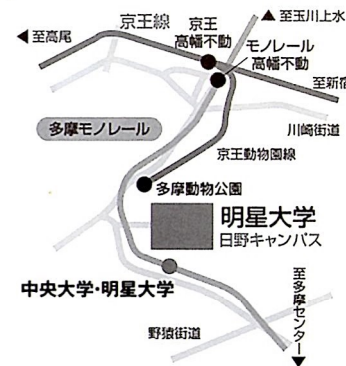
9:00	9:30	12:00	13:00	16:00
開場	全体会(32号館)	昼休み	分科会(28号館)	終了
受付	●あいさつ ●被災地レポート ●基調報告 ●全体講演	[午後受付] 12:40~	[各教室] ●第1~10分科会	

- 参加費 1500円
- 保育 4歳以上 6/28(木)締切(保育士等手配の都合上、事前申込みをお願いします)
おやつ代&保険料として300円(お子様一人)とお子様の着替え、帽子、水筒を当日ご持参ください。
申込み用紙にお子様の年齢と、障がいやアレルギーのある場合はその旨を[備考]にご記入ください。
- 昼食 600円(事前申込みのみ/大学内のコンビニ&学生食堂は閉店します) 申込み締切6/28(木)
- お申込み方法(右記参照/分科会教室割り当てのため、事前申込みにご協力ください)

後援 ● 東京都、日野市、西東京市、小平市、小平市教育長、東村山市、府中市、東久留米市、
多摩市、国立市、調布市、清瀬市、小金井市、武蔵野市 ほか
主催 ● 日野市学童保育連絡協議会・三多摩学童保育連絡協議会

アクセス

明星大学日野キャンパス
28・32号館
日野市程久保2-1-1
<http://www.meisei-u.ac.jp/access/hino.html>



●多摩モノレール利用
「中央大学・明星大学」駅直結
※駅からは学内エスカレータ「Starway」が利用できます。
下記はアクセスの例となります。

- (1) 新宿駅→(京王線30分)→高幡不動駅→(多摩モノレール7分)→中央大学・明星大学駅
 - (2) 小田急・京王多摩センター駅→(徒歩3分)→多摩センター駅→(多摩モノレール5分)→中央大学・明星大学駅
- ※()は、所要時間の目安です。

●申込み方法

各地域連絡協議会でできるだけお取りまとめいただき、参加費と申込み用紙を以下の方法でお送りください。また、連絡協議会がない個人参加の場合も、同様のお申込みをお願いいたします。

■郵便振替の場合

以下の郵便振替口座に送金後、領収書と申込み用紙をeメール(PDF添付)またはFAXでお送りください。

- ・郵便振替口座
00130-4-336505 三多摩学童保育連絡協議会
- ・郵便振替領収書&申込み用紙のPDF、FAX送付先
eメール: info@santama-gakuho.org
FAX: 042-469-0711 三多摩学童保育連絡協議会

■当日支払いの場合

申込み用紙をeメール(PDF添付)または、FAXでお送りください。当日受付にて参加費のお支払いをお願いします。

●申込み締切 6月28日(木)

希望する分科会を事前連絡をお願いします。事前申込み数により各会場を割り当てますので、満員になった場合、当日では参加できないことがあります。事前申込みにご協力ください。

●お願い

大会会場には駐車場はできません。公共交通をご利用ください。施設はお借りしているものですので、きれいに使用し、ゴミはお持ち帰りください。

●第29回三多摩学童保育フォーラム[参加&保育&昼食]申込み用紙

各項目についてご記入ください。また、□のあてはまるところに✓チェックをお願いいたします。

●お名前	●ご参加地域 (□ご自宅 □学童保育)
(□指導員・□父母・□その他)	(市・町・村) (学童保育所)
□保育(4歳以上)を申込みます	●ご連絡先 お電話
__歳__人 __歳__人 合計__人	(□ご自宅 □学童保育所 □携帯電話 □勤務先)
□昼食を申込みます__個	eメール
	@
	●希望分科会 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10
	●参加費のお支払い方法 (□連協取りまとめ・□郵便振替・□当日払い)

[備考]

●お申込み・お問合せ 三多摩学童保育連絡協議会まで! (常駐職員不在のためeメールでのお問合せにご協力ください)

eメール info@santama-gakuho.org FAX 042-469-0711

【第53回 全国学童保育研究集会 in 神奈川】

2018年10月20日(土) 全体会◎横浜文化体育館[横浜市中区]

10月21日(日) 分科会◎関東学院大学 金沢八景キャンパス[横浜市長谷区]



第29回 三多摩学童保育フォーラム



プログラム

全体会 9:30～12:00 32号館108教室



- 開会・あいさつ 日野市学童保育連絡協議会ほか
- 被災地リポート 大分県放課後児童クラブ連絡協議会 会長／佐藤久住さん
- 基調報告 三多摩学童保育連絡協議会

○全体講演

32号館108教室

保育・学童保育の今

～その仕事の実態と専門性への理解

お話 垣内国光さん(元明星大学教授 社会福祉法人多摩福祉会理事長)

保育園・学童保育をとりまく環境は今、十分といえるでしょうか。新聞をにぎわす「保育士不足」はそのまま学童保育の課題に直結します。子どもたちの健やかな成長に欠かせない保育の質を求めるとき、保育士や指導員(放課後児童支援員)の処遇改善は欠かせません。保育の質とは。その仕事の実態と求められる専門性、そして、そこにかかわる保護者にもとめられる取り組みとは。長年保育問題に取り組み、教鞭をとられてきた講師から、保育者と保護者へのエールをこめてお話しいただきます。

元明星大学人文学部教授。社会福祉法人多摩福祉会 理事長。専門は、子ども家庭福祉論、子育て支援論、保育労働者問題。主な著書:「私たち非正規保育者です」(共著・かもがわ出版・2015)、「日本の保育労働者—せめぎあう処遇改善と専門性」(共著・ひとなる書房・2015年)、「保育に生きる人びと—調査に見る保育者の実態と専門性」(ひとなる書房・2011年)、「プロの保育者してますか?—保育者の悩み・専門性・労働」(かもがわ出版・2008年)、「民営化で保育がよくなるのか?—保育の民営化問題ハンドブック」(ちいさいなま社／ひとなる書房・2007年)、「保育者の現在」(ミネルヴァ書房・2007年)、「新・子どもの世界と福祉(シリーズ少子化社会の子ども家庭福祉)」(共著・ミネルヴァ書房・2004年)、「子育て支援の現在—豊かな子育てコミュニティの形成をめざして」(ミネルヴァ書房・2002年)ほか多数。

分科会 13:00～

◆参考『日本の学童ほいく』誌

1 学童保育の基本的な理解

～子どもを預けっぱなしにしないために

アドバイザー 中島美和さん
(三多摩学童保育連絡協議会役員)

「学童保育」は、保護者と指導員と一緒に子育てをする場所です。毎日どんなふうに過ごしているの? 放課後子供教室との違いは何? 父母会とはなぜ必要なの? 学童保育を楽しむために、学童保育の成り立ち、子どもたちの一日、指導員の仕事などなど、ふだん疑問に思っていることや悩んでいることを持ち寄って交流しましょう。学童保育がわかれば、毎日の子育てがもっと楽しくなりますよ。 ◆2017年4月号

2 子どもの様子を保護者と伝えあおう

～子どもを真ん中に

講師 小野さとみさん(町田市学童保育指導員)

指導員として、保護者に子どもの様子を「伝える」時、何を大切にしていますか? 何を・どのように・どのタイミングで・なぜ伝えるのか。働きながらの子育てを支援するために、仕事として「伝える」ことの重要性、保護者との「伝えあい」をどう育むのかを学びます。学童の様子がわからない、と悩んでいる保護者にもオススメです。 ◆2017年5月号

3 「子ども・子育て支援新制度」ともとめられる学童保育

～安心して生活できる学童保育のために

講師 木田保男さん(全国学童保育連絡協議会会長)

子ども・子育て支援新制度が5年間の「事業計画」の折り返しを迎えました。わずか3年前に始まったこの制度の、2つしかない「従うべき基準」が、今緩められようとしています。この分科会では、「放課後子ども総合プラン」の動きも含め、ますます多様化し、増え続ける学童保育の制度や行政の動きを理解し、学童保育のあり方や指導員の課題を確かめあい、子どもたちが安心して生活できる学童保育への視点を学びます。 ◆2016年12月号

4 子どもたちの豊かな生活の場としての学童保育とは

～インクルーシブな集団作りに求められる保育実践や職員の専門性の課題を考える

講師 西本 絹子さん(明星大学教授)

学童保育は、子どもの自主的な遊びと子どもが自由に選択する人間関係が尊重される、いわば“素”のままの生活の場です。しかし、だからこそ、障がいのある子どもにもそうではない子どもにも、“本音で共生する力”を育てることが求められ、また、その育ちを期待することもできます。子ども同士の豊かな関係づくりや、多様な子どもを含み込んだ集団作り、子どもたちの支援の力を育てるためには、どのような実践や職員の専門性が求められるのでしょうか。インクルーシブ教育の専門家である講師に発達障がいについてお話しいただき、実際の事例を元に学び交流します。

◆2016年9月号、2017年1月号

5 学童保育の民営化とは?

～学童保育で大切にしたいことと保護者が果たすべき役割

アドバイザー 水谷織江さん・松井徳孝さん
(三多摩学童保育連絡協議会役員)

「学童保育の民営化」と聞いて、何が思い浮かびましたか? 公設公営が中心であった三多摩地域で今「民営化」が進んでいます。業務委託と指定管理の違いとは? 市の果たす役割は? 子どもたちのびのびと過ごせる放課後を守るため、保護者が今すべきこととは? すでに「民営化」を進めている市からの報告を元に、子ども達にとってより良い学童保育とはどうあるべきなのかという視点を大切に、これまでとこれからの学童保育について交流します。

6 障がいのある子どもの支援と連携のあり方

～日野市発達・教育支援センター「エール」の取り組みから

講師 長瀬和江さん
(保健師・日野市発達支援課副主幹)

「日野市 発達・教育支援センター“エール”」は福祉と教育が一体となって、0歳から18歳を対象に支援を必要とする子どもと家族を継続的に支援する施設です。その支援センター“エール”に従事する保健師を講師にお迎えし、他市の支援の状況や学童保育の現場を交流しながら、もとめられる支援と連携のかたちについて学びあいます。

◆2017年4月～2018年3月号[連続講座]

7 子どもの遊びとインターネット

～豊かな放課後を過ごすために大人が知っておきたいこと

アドバイザー 田中 誠さん・西村嘉祐さん
(三多摩学童保育連絡協議会役員)

学童保育では「遊び」を中心とした「生活づくり」をしています。子どもが主体的に得る遊びは、生きる力に直接つながっており、「遊び」の世界は常に時代を反映します。現代はゲーム機やインターネットが「遊び」の世界を拡張する一方、リスクになっています。本分科会では、子どもの発達・成長の意義を確認しながら、さまざまな「遊び」と上手につきあひ、子どもたちが豊かな放課後を過ごすために、大人が身につけたいことを学びます。 ◆2018年5月号

8 学童期の今知っておきたい、子どもにかかるお金の話

～奨学金は借りてはいけないの?

講師 生島典子さん
(マネーライター、三多摩学童連協役員)

新聞等で、よく奨学金の返済に苦労している話を取りあげられます。大学進学率が50%といわれるこの時代、小学校～大学までいったいくらかかるのでしょうか? 奨学金やさまざまな補助金制度については、内容を「知る」ことが大事です。学童期の今だからこそ備えておくべきこととは? うちの教育費は大丈夫? そう思ったあなた、子どもにかかるお金の話を一緒に考えてみませんか。

9 子どもを中心にまちを育てる

～子どもの権利・地方自治の視点から

講師 池上洋通さん
(NPO法人多摩住民自治研究所研究室長)

地方自治体の基本的な役割は、すべての人の人権をそれぞれの日常生活に具体化することです。どの子の人権も、子どもと親と家族の権利と結びついていきます。すべての子どもが生き生きと暮らし、主体的に成長するために、大人は何をしなければならないのか。子どもたちが、一人の人間として笑顔で毎日を過ごすことができる社会への道筋を学びあいます。

10 「わーい、みんな、あそぼうよ!」

～集団遊びで子どもの楽しさを経験しよう

講師 安藤耕司さん
(遊び創造集団 たのしいのひ代表)

集団で遊んでいる時の子どもたちには、独り遊びとは違った目の輝きがあります。学童保育の中で楽しめる集団遊びを、実際に遊びながら学びます。日々の遊びに悩む指導員さんはもちろん父母会行事のヒントにも! ●子どもといっしょに遊ぶ分科会ではありませんので、お子さんは参加できません。●運動できる服装でご参加ください。